

精神保健福祉士国家試験の在り方に関する検討会（第3回）

議事概要

- 社会福祉士国家試験の在り方検討会との合同開催。
- 精神保健福祉士国家試験と社会福祉士国家試験に共通する試験科目に関して、これまでの議論等を踏まえ、出題形式や出題数等の見直しの方向性について議論。
- 主な意見
 - ・ 「複合化・複雑化した課題に対応する」というカリキュラム改正の趣旨を踏まえ、判断力等を問うことができる、より実践的な問題を出題すべきではないか。
 - ・ どのような分野に就労したとしても、最低限備えておくべき基本的な知識を問う問題を出題すべきではないか。
 - ・ タクソノミー分類を踏まえた問題作成を行い、解釈力や問題解決力等を問うことができる事例問題を出題すべきではないか。
 - ・ 受験者の負担を軽減するため、試験時間や出題数を可能な限り削減すべきではないか。